

地理 大阪大学（前期） 1/2

(I)

問1	(a)	寒流により大気が安定するアタカマ砂漠とは異なり，隔海度が大きい ため水蒸気量に乏しく気温の年較差が大きい。(52字)
	(b)	家畜の飼育頭数の増加による過放牧や人口増加による農地の拡大にともな い，草地や森林が失われ砂漠化が進行した。(54字)
	(c)	春の融雪後に植物が未生育な状態の地表が露出すると，細砂が上空に巻き 上げられ偏西風に乗って飛来するため。(51字)

問2	(a)	A：中国 B：韓国 C：日本
	(b)	いずれの国でも合計特殊出生率の低下と高齢化の進展により，人口の自 然減少の局面を迎え，非大都市圏では若年層の流出により少子高齢化の進展が顕 著である。日本と韓国ではとくに農林水産業での労働力不足が深刻なため外国人 労働力の導入が行われ，中国では都市部との格差是正のため地域内の雇用創出も 含めた農村振興策がとられた。(154字)

問3		初期に進出した企業の多くは沿海部に立地して、日本からの部品等の輸 入により、主に電気機械などを生産した。その後は自動車工業など部品を生産す る日系企業の進出や技術の向上した中国の現地企業から調達する現地化が進ん だため、中国全域に立地が拡大し、これにより日系企業と中国企業との水平分業 が活発になった。(147字)

地理 大阪大学（前期）2/2

（Ⅱ）

問1	(a)	A周辺は台地の崖下で湧水が得られるうえ河道から離れていて水害を受けにくいため形成された古い集落である。B周辺は高燥な河岸段丘の平坦な高位段丘面で、未利用の針葉樹林だったため新興住宅地として開発された。(100字)
	(b)	住民の高齢化と子世代の独立により高齢者だけの世帯が増え、空き家の増加のほか買い物などの不便が生じている。(52字)

問2	(a)	当時の主要なエネルギー源であった石炭の産出が多く、所得の高い炭鉱や関連産業の労働者が多かったから。(49字)
	(b)	Xが1960年、Yが1980年にあたり、高速道路の整備により、広い用地を得やすい郊外や地方への製造業の立地が進んだため。(54字)
	(c)	国内のサービス経済化の進展により、情報や金融などのサービス業が高度人材を得やすい東京に集積するうえ、国際化が進むことによって、日本の大企業や外資系企業などがビジネスや交通面で優位な東京に立地したため。(100字)

問3		経済の諸機能が集中し、就業機会の多い首都がプライメイトシティとなっており、農村部との経済格差が著しい。また北部には、USMCAによる自由貿易の恩恵も受けてアメリカ合衆国向けの製造業が早くから集積しており、南北格差も著しい。(107字)
----	--	---